

「クオリティ志向型人材育成とスマート・ビジネス・コラボレーション」

－経営品質科学に関する研究－

研究代表者 山 下 洋 史

明治大学商学部では、2007 年度、商学における新たな研究領域の開拓をめざして、新たな研究プロジェクト「クオリティ志向型人材育成とスマート・ビジネス・コラボレーション－経営品質科学に関する研究－」を立ち上げ、この研究プロジェクトが「オープンリサーチセンター整備事業」（以下「ORC」）として文部科学省より認定された。そこで、当該 ORC プロジェクトでは、駿河台キャンパス 11 号館 2F に「経営品質科学研究所」を開設し、ここを拠点に 40 名以上のプロジェクト・メンバーが積極的な研究活動を展開している。

当該 ORC プロジェクトは、2002 年度から 2006 年度の研究期間で行われた文部科学省 学術フロンティア推進事業「先端的グローバルビジネスと IT マネジメント－Global e-SCM に関する研究－」を基にして発足した研究プロジェクトであり、ほとんどの学術フロンティア・メンバーが当該 ORC プロジェクトに参加している。上記学術フロンティア研究プロジェクトでは、5 年間の研究期間の間に多くの研究成果を生み出してきたが、こうした研究活動を、企業活動のグローバル化と情報化のシナジーという観点から進めていけばいくほど、経営のクオリティと人材育成の重要性を痛感するに至り、当該 ORC プロジェクトを立ち上げたのである。当該 ORC プロジェクトでは、こうした問題意識に基づき、文理・産学・製版のコラボレーションによる「経営品質科学」という学問領域を開拓すべく、Q-ECM（Quality Oriented Education Chain Management；組織の壁を越えたコラボレーションによる人材育成の全体最適化）のコンセプトを提示し、図 1 に示すような研究組織で新たな研究活動を始めている。これにより、経営品質科学の理論と体系の構築をめざしていくのである。

5 年間の研究計画の 2 年度に当たる 2008 年度は、経営品質科学の構築に向けた研究活動の基盤となる枠組み・コンセプトをより精緻化するとともに、それに基づく積極的な研究活動を展開した。これらの研究成果は、50 本以上の論文、80 件以上の学会発表（のち、10 件は国際大会発表）、7 冊の研究書出版、1 冊の翻訳書出版、30 回以上の研究会、2 回の公開講座等を通じて公表されている。上記の論文・学会発表研究は、関連学会からも高く評価され、「2008 年度研究成果報告論文集」（明大商学論叢 第 91 巻 特別号 No. 2）として取りまとめられている。

クオリティ志向型人材育成とスマート・ビジネス・コラボレーション ー経営品質科学に関する研究ー



1

一方で、こうした研究成果をタイムリーに学部教育および大学院教育に還元すべく、当該 ORC プロジェクトでは 2007 年度、学部間共通総合講座として「クオリティ志向型人材育成と技術経営 (MOT)」、「グローバル戦略の新たなデザイン ースマート・グローバリゼーションー」、「戦略的 SCM ケイパビリティ」を、また大学院商学研究科系列共通科目として「技術経営 (MOT) 特講」をそれぞれ開講し 2007 年度に引き続き 4 講座開講した。さらに、当該研究プロジェクトの研究成果を社会に還元すべく、2008 年 8 月 20 日・21 日に当該 ORC メンバー 4 名 (臼井・松田・西・清水) による「若手研究者による夏季公開講座 2008 ーグローバル競争下の経営戦略・社会性ー」を経営品質科学研究所にて開催し、2009 年 3 月 12 日・13 日には当該 ORC メンバー 4 名 (山下・矢口・深澤・鄭) による「春季公開講座 2009 ースマートなビジネス・コラボレーションの実現をめざしてー」を開催した。

以上の研究活動は、当該 ORC プロジェクトが商学・経営学・情報科学・経営工学にまたがる「経営品質科学」の構築をめざしているため、非常に幅広いテーマとなっている。このことは、文理融合型の学際的研究をめざした当該 ORC プロジェクトの研究領域の大きさを端的に表している。それと同時に多様な専門分野で活躍するプロジェクト・メンバーの幅広い関心を示している。したがって、Q-ECM のマネジメント・コンセプトを中核に据えながらも、既存の学問領域に閉じた議論でなく、品質管理・コーポレートガバナンス・人材育成・マーケティング・財務管理・グローバルビジネス・経営戦略・ロジスティクス等の研究テーマを多面的に論じている。これにより、「クオリティ志向型人材育成」と「スマート・ビジネス・コラボレーション」の視点から企業活動の「全体最適化」が論じられるのである。

当該 ORC プロジェクトの研究活動は、明治大学内外の多くの方々のご理解とご協力に支えられ

ている。とりわけ、明治大学研究・知財戦略機構と商学研究所の関係者の方々から多大なるご協力をいただいたことに対して、深く感謝の意を表したい。当該 ORC 研究が「経営品質科学」という新たな研究領域の扉を開け、商学・経営学・情報科学・経営工学の今後の発展に対して多少なりとも貢献するよう、今後も積極的な研究活動を展開していく所存である。